

日野総合事務所だより

Contents

県民局	2~3
郡民会議	4~5
福祉保健局	5~6
西部教育局日野郡地域教育担当	7
農林局	8

「竜王滝」(日野町)

小泉八雲の小説「骨董」にも幽霊滝として登場し、子どもの首をかかれたお勝の伝説で有名。滝山公園の滝山神社境内にある。

日野郡の歴史セミナー

海運業の父 加藤正義

時は明治、破滅の危機を迎えた日本海運業を救うため登場したのは日野町出身の加藤正義。

日本郵船会社の最高幹部として同社を我が国最大の船会社に育て上げ、日本の海運業を国際的規模まで導いたのであった。

【日本海運業の危機】

明治14年、その6年前に誕生した郵便汽船三菱は、西南戦争の物資輸送で年間1千万円（※）を稼いでいた。ところが、同年の政変で大蔵大臣大隈重信が政府を追われると、翌明治15年、反三菱の渋沢栄一らは共同運輸を立ち上げ対抗した。ここから猛烈な値下げ競争が始まった。それまで5円50銭であった神戸〜横浜間の3等船賃は25銭、実に20分の1までに下落した上、景品として味噌・醤油が付く始末であった。絶好調であった郵便汽船三菱の決算は明治17年下期には68万円もの赤字を計上、創業者の岩崎弥太郎は心労の内に死亡、まさに会社存亡の危機であった。無論、対抗する共同運輸も状況は同じであった。両者の共倒れは発展しつつあった日本海運業の破滅を意味した。国策で育て上げた両社の危機を日本政府は放置

できなかつた。このピンチに登場したのが日野町出身の加藤正義である。

（※当時の物価は現在の1万分の1程度）

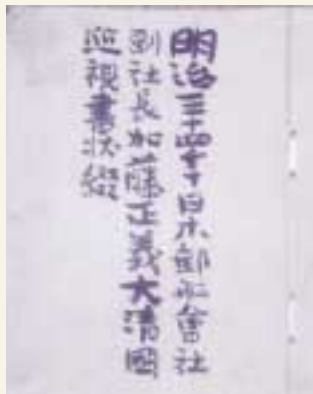
【加藤正義の略歴】

嘉永7年2月、日野郡別所村（現在の日野町別所）に4人兄弟の二男として生まれた正義は12歳のときに根雨の近藤家へ奉公に出されたが、溝口の大庄屋へ使いに出された際のある出来事を機に一念発起し、近藤家を辞めて和尚にな



加藤正義

ろうと大山寺の善信和尚のもとで禅を学んだ。時は明治維新の頃であった。どういふわけか明治6年、19歳のとき鳥取県庁に入り、明治9年に置賜県（現在の山形県南部）に移る。ここで県令（現在の県知事）と衝突し辞職する。しかし、この挫折が正義の運命を変えることになる。大阪に帰った正義は上等裁判所の判事補となり、その仕事ぶりが兵庫県令森岡昌純の目に留まる。森岡に認められた正義は兵庫県地方課長に抜擢され、西南戦争の運輸、岡山県との県境争い、共進会の開催など次々と森岡の期待に応えた。



当時の巡視書状綴

【日本郵船の誕生】

明治18年、ときの農商務大臣西郷従道は森岡を農商務少輔（現在の次官）に、正義を権書記官として三菱、共同両社の調停に当たさせた。調停には合併以外にないと判断した正義は農商務省を辞めて火中の共同運輸に入り合併を成功

に導く。日本郵船会社の誕生である。森岡も官を辞め社長に就任、正義は支配人に選任される。その後、正義は30年にわたり同社の最高幹部として活躍したわけだが、日清・日露戦争等での兵員・物資輸送、欧・米・豪州航路の開拓、日清汽船の創立など、日本郵船を我が国最大の船会社に育て上げ、日本の海運業を国際的規模まで導いていった。

【その後の加藤正義】

大正4年の日本郵船退社に先立ち、大正3年には東京市会議員となり、その後議長を務めるなど市政に参画、また法典調査会委員を初めに多くの委員として幅広く活躍した。

一方私生活では書、短歌、茶道、刀剣、焼物など風月を愛した。大正12年、69歳で没する。晩年の短歌を一句紹介する。

ふるさとかへらば
道のみみぢ葉の
散りしく頃をと思ひけるかな

監修 川上 護
（日野町歴史研修会副会長）

問い合わせ先
県民局 県民課
電話 0859-72-2083
担当 實重 修



金持醤油と金持味噌特上

95年前に藍染めでの創業以来、3代に渡り味噌・醤油を製造販売する日野町「有限会社 堀田本店」の紹介です。

シリーズ 日野郡の 元気な会社 (第12回)

☆こだわりの商品と消費地への進出

2代続く商品へのこだわりは、吟味した地元農家から仕入れる原料(地大豆と米麴に合わせる米)、そして大豆と米の配合バランスを追究し、うまみと甘味のかね合いで特色を出しています。

このこだわり故に現在の販売圏域は、県西部から岡山県北を中心には北は新潟県から南は四国、山口県までと広範囲です。さらに近年は関西方面の料理関係の店舗からの注文が増えてきているとのこと。口コミでの広がりが高いリピート率から、商品への自らのこだわりに手応えを感じておられます。

また、わざわざ米子から日野町まで買い求めに来ていただけの年配のお客様もあるとのこと。これからもこのようなお客様を大事にしたいこともあり、昨年は市街地でも商品を購入できるよう、量販店への商品プレゼンや市内での販売代理店募集などを行いました。今後とも何とか常設取扱できる店舗を開拓したいと意欲的です。

☆鳥取県ふるさと認証食品

昨年より始まった県のこの認証制度への申請により今年3月、「金持味噌特上」が県内では初めての味噌での認証となりました。

この認証表示により消費者の食への関心への高まりに応え、他商品との差別化に役立つことが期待されます。

☆社長さんコメント



堀田本店の前で堀田社長

皆様のおかげをもちまして会社創立95周年を迎えることができました。定番のマルアイ醤油・まるほ味噌、贈答用の金持味噌・金持醤油等より良い商品作りにまい進して参ります。

今後とも皆様のご支援とご愛顧を弊社に賜りますようお願いいたします。

企業データ

有限会社 堀田本店

代表者 堀田 修二

本社所在地 日野町根雨901

電話 0859-72-0020

F A X 0859-72-0320

E-mail horitahn@jeans.ocn.ne.jp

※鳥取県ふるさと認証食品制度とは

食の安心・安全への関心が高まる中で、県内で製造・加工され、原材料や製法など素性が明らかかな次にあげる食品を認定する制度です。

認証された食品は、その優れた品質と信頼の証として「Eマーク」を表示し消費者へアピールすることができます。



問い合わせ先

担当 県民局 県民課
電話 0859-72-2084
足立 啓作

お知らせ


以下の郡民会議で出た意見及び県の処理方針については、読みやすさやページ数の観点から、要約をしておりますのでご承知ください。

なお、正式な内容については、日野総合事務所のホームページに掲載しております。


◆第3期委員第4回日野郡民行政参画推進会議での意見について(要約)◆

(平成19年3月10日開催)


1 チャレンジプランの成果は評価し、公表すべきではないか (農林局関係)

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>チャレンジプランの予算が19年度も減額されずに予算がついていることは非常にいいことだと思うが、個々の事例について審査委員による達成状況への評価がきちとなされ、いろいろな団体に公表され、これから取り組む人の参考になるようにしないといけない。</p>	<p>チャレンジプランの達成状況は毎年、事業実施者から実績報告をいただき、これを鳥取県農政課のホームページに掲載公表しています。</p> 	<p>プランの達成状況の報告は、本年度からプラン認定後3年経過したものを発表会で説明していただくこととしていますので、今後は発表の機会を広く設けていきます。</p> <p>まず手始めに、第5回郡民会議(6月30日)において、代表事例として3事例について、プラン発表会を開催する予定です。</p>


2 中山間地直接支払制度は実態を調査し、もう少し柔軟に対応して使いやすい制度にすべきではないか (農林局関係)

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>圃場に入る畦道を農業機械の搬入路として整備をしたくてもできないなど、中山間地支払い制度は使いにくい。実態を調査し、もう少し柔軟に対応して使いやすい制度にすべきではないか。</p>	<p>中山間地域直接支払制度では、土地改良事業による農道の整備は、交付金返還の免責事由となっていますが、個人的な進入路整備は免責事由になっていません。(地方公共団体、土地改良区が設置する農業用道路、用水路、排水路等は、土地収用法の収用適格事業に該当し、交付金返還の免責事由となります。)この事例を伺い、現場の実情にあっていないと考えられたため、昨年10月19日に県経営支援課へ制度改革要望を行いました。県経営支援課も同様と考え、中国四国農政局の担当者へ要望を伝えましたが、農政局担当者の見解は「主旨はわかるが制度改革は(現対策期間中は)無理でしょう。」とのことでした。</p> 	<p>今期の対策は平成21年度までとなっています。平成22年度から始まる次期対策での制度改革に向けて、引き続き国へ要望していきます。</p>


3 盛土工事は工事環境が良くなってから完全な形でしてもらいたい (県土整備局関係)

会議意見	処理方針等
<p>日野郡の工事環境は非常に悪いと思う。特に盛土をするような工事を雪の下でやると、工事環境的には極めて悪いと思う。執行者側からすると繰越事業というのは非常に敬遠されるかもしれないが、雪の中での盛土工事というような工事というのは、予算が通っていても繰越事業として発注をかけた方が、雪が消えてから完全な工事をしてもらった方がいいという方もたくさんおられると思うので、その辺のところも考慮していただきたい。</p>	<p>緊急的な災害復旧工事、施工時期が限られる河川工事等を除き、工事は冬季を避けて気候が良いときに行うことが望ましいので、今後、県では早期の着手を推進して繰越工事は減らしていきたいと考えます。止むを得ず冬季工事を行う場合でも、品質管理を十分にいき基準に適合した構造物とします。</p> 

4 郡内の医療の連携を福祉保健局として促すべきではないか (福祉保健局関係)

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>日野郡の病院全体がよくなってほしいなという中で、日南病院、日野病院、江尾診療所が一つになって考え、他の病院の良いやり方を取り入れたりするような連携が要るのではないかと。また、高齢者の問題だけでなく、子どもの問題や若い人たちの心の病というような、そういう面を郡内の医療の部分でどうしたらいいか考えていける視点があるといいなと思う。そういうことを促すことも総合事務所の福祉保健局としてすべきことではないか。</p>	<p>平成18年度において、公的医療機関、介護入所施設、町社会福祉協議会、行政を構成員とする日野郡保健医療福祉関係機関連絡会を立ち上げました。</p> <p>第1回テーマとして「在宅医療福祉」を取り上げ、地域で高齢者を支えるための課題と連携方策について協議を行ったところです。</p> 	<p>今後、この連絡会を始めとして、地域における関係機関との意見交換の機会を設定し、先進的な取組み事例の紹介、各機関が抱える課題に関する協議などを通じて、各機関間での情報共有、連携強化を進めていきたいと考えます。</p>

5 郡内のリハビリ体制をもっと充実して欲しい (福祉保健局関係)

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>脳卒中等のリハビリ等で、まだ十分家へ帰れる状態でない患者さんを、現実の医療制度の中では、退院をせざるを得ないという方がたくさんいらっしゃると思う。</p> <p>そういう方の受け皿として、日野郡では「あかねの郷」とか、「あやめ」というところがあると思うが、リハビリを毎日続けたら家に帰れるなどという状況の方でも週に2回程度しかできないとか、専門的なリハビリでないというようなことを聞いている。そういう面をもっと充実して、本当に家に帰れる状況まで持ってけるように要望したい。</p>	<p>平成18年度から日野郡高齢者自立支援実務担当者会を開催し、リハビリを担当する各医療機関・福祉施設のスタッフに対し、圏域の地域リハビリテーション支援センターによる研修と意見交換を行っています。</p> <p>また、生活能力を回復するリハビリを有効に行うため、限られたリハ専門職だけでなく、介護・看護職も含めた技能向上を図っています。各施設においては、ケアマネージャーとリハスタッフが利用者や家族の要望を確認しながら、目標とする生活リハビリができているかどうか定期的に点検・修正するシステムに改善されているところです。</p>	<p>リハビリを必要とする対象者の状態や希望に応じた適切なリハが継続して行えるよう、今後も郡内の地域リハビリ関係実務担当者会を開催し情報の交換と研修・研鑽を行い、介護施設におけるリハビリ技術の向上に努めます。</p> 

第5回日野郡民行政参画推進会議は6月30日(土)に開催されました!
 今回の特定テーマは『日野郡の産業振興(農林・商工)と文化・観光』

こんな意見がでています

- そばの一大産地である日野郡ですが、今後のそば振興策は・・・?
- 休耕田で山菜観光農園や市民農園を・・・都市部との交流を図ってはどうか
- 特産品・名産品など新規開発支援と合わせ、老舗の後継者育成対策を
- 地域独自の価値観を見出し、若年層に「地域のよさ」を再発見してほしい

その他 県政一般では・・・

- 人事異動の際には、地元からの要望や約束事項等を確実に引き継いでほしい
- 新年度における林業専門スタッフ配置、果樹普及スタッフ廃止は有効な配置なのか?
- 10年経過・継続中の公共事業、再評価はいいけれど、地元の意向はどうなるの?

問い合わせ先 県民局 県民課 實重 修 電話 0859-72-2083

平和の大切さ、被爆の現実を伝えたい

鳥取県原爆被害者協議会日野支部の語り継ぎ活動

鳥取県原爆被害者協議会日野支部は、昭和57年に結成され、相談活動や、原爆展、小学校等での被爆体験発表といった活動を長年続けておられます。現在、郡内の被爆者の方の平均年齢は78・3歳となり、高齢化が進んでいます。



体験発表された森さん

被爆者の方の体験と受けとめ、次の世代へ伝えられるよう、私たちが今一度考えてみませんか。

被爆62年を迎えて

森 文雄さん(江府町)

私は、昭和19年に満20歳で徴兵検査を受け、現役兵として広島宇品の船舶砲兵、砲二九五三部隊に入隊、広島市南観音町の野球場に高射砲三門を設置して、訓練しながら警戒をしていました。

8月6日、未明に空襲警報が解除され、朝8時に起床しました。点呼中、対空監視の「B29一機発見。高度1万メートル」という声が聞こえました。私は、日野郡の方を向いて帽子をとり、かぶろうとしたところが、「ピカッ」という光線と、「熱い」と感じました。焼けるような熱さです。気がつくのと立って防空壕へ駆け込んでいました。しばらくして恐る恐る測高機のとこ

ろへ帰ると、中隊長がシャツを血で真っ赤にして陣地に一人立っていました。爆心地を見るとキノコ雲が相当な高さになっており、測ると、高さ1万メートル、直距離1300メートルでした。その頃には一般の人がみんな陣地に入ってきて、夏の暑いときで、子どもはパンツ一枚、女性も薄着で被爆していますから、それが焼けただれて、兵隊を頼りにドーッと押し寄せてきて、兵隊にさばりつくのです。

歩く姿は何ともいえず、顔の皮膚は顎の辺まで垂れ下がりがり血と水で見られない。足の甲の皮もはがれてブランブランしている。それで「水、水」と欲しいがらなのですが、水を飲ませるという命令で、水は与えませんでした。

夜になると、兵舎では口ウソクを頼りに不寝番が点検しながら、次々に「あそこも死んだ」と、まことに凄まじい状態で、言葉には出ません。

60年間は不作と言われていた広島ですが、今や当時の面影は原爆ドームだけです。もう今後一切核実験、核兵器の無い、平和な世界を希望してやみません。

(6月23日、日野仏教会主催「平和観音祈りの集い」での体験発表より)

問い合わせ先 福祉保健局 保健衛生課
 電話 0859-72-2039
 担当 大野木 裕子

地域のみんなで進めよう

リハビリテーション

〜いつまでも自立して暮らすために〜

脳卒中にかかった時などは、まず、病院で治療と集中的なリハビリテーション(リハビリ)を受けたあと、自宅での生活を考え機能を落とさないようリハビリを習得するため、老人保健施設に移ったり、自宅に帰って、通院、通所や訪問リハビリを受けます。

体に支障が残ってしまった時には、「できなくなってしまった」という思いから意欲まで低下してしまうこともあります。

でも、「できること」を大切にしながら、「残っている力」を最大限に引き出して、ご自身が望んでおられる生活を目指す事が重要です。(これを自立支援と言います。)

「リハビリテーション」というと病院で行われる「機能訓練」をイメージされる方が多いのですが、残っている力を引き出し、ご自分で望んでおられる自立した生活を送るには、普段の生活

で関わっている全ての者(リハビリ専門職・看護師・介護士・ホームヘルパー等)が同じ思いでリハビリを支援することがとても大事なことです。(これを地域リハビリテーションと言います。)

郡内でリハビリを行う機関としては日南病院・日野病院、老人保健施設(おしどり荘・あやめ)の他、入所生活の機能が落ちないよう援助してもらえる介護老人福祉施設(あかねの郷・あいご・チロルの里)があります。

今回は18年度にオープンした「あやめ」のようすの一部をご紹介します。

問い合わせ先
福祉保健局 保健衛生課
電話 0859-72-2036
担当 景山 佳余子



(ご利用者Aさんの声)

「病院を退院し、あやめに入所して2ヶ月。病院では毎日リハビリがあったので、週2回になることで不安でしたが、食堂やお風呂・散歩等に出かけ、動く機会が病院より増えました。生活リハビリというのだそうですが、病院に居るときより元気になったと思います。」

(退所されたBさんのご家族の声)

「昨年6月から入所させてもらい、この4月から在宅で介護しています。昨年、病気で倒れてからは自宅で介護するなんて考えられませんでした。でも、在宅に向け施設と在宅ケアマネさんが連携し、介助の仕方など習わせていただいたおかげで自信ができました。冬になったら入所をさせていただき予定で安心しています。」

(スタッフCさんの声)

「帰ってからの生活を想定して、入所時から定期的にリハビリの目標を利用者の方や家族の方と決めて進めています。」

「自分でできない事を手伝いながら、できる力を引き出せるよう看護・介護スタッフ、ケアマネジャー・リハビリ専門職で月2回話し合い確かめながら支援しています。」



心とからだ いきいき キャンペーン



大切です！
生活リズムや家庭・社会のマナー！

子どもの家庭生活に関するアンケート結果から



時間を自由に使えるこの時期こそ 本を読もう・外で遊ぼう



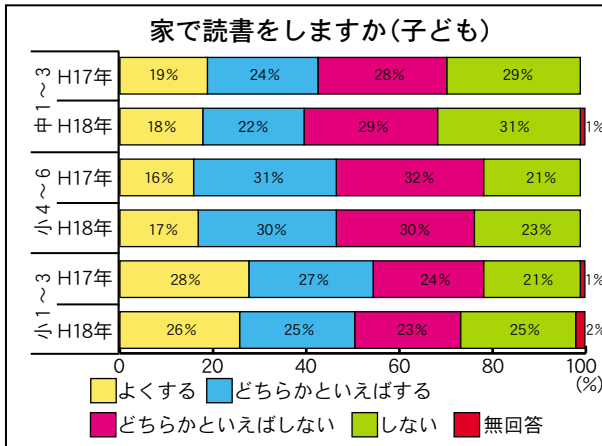
昨年11月に実施した日野郡保小・中アンケート調査の結果から、今回は「家庭での読書」と「外遊び」について取り上げます。

郡内のすべての小・中学校では「朝の読書」を実施していますが、家庭での読書は必ずしも増えている・定着しているとはいえません。左下部のグラフのように、家で読書を「よくする・どちらかといえばする」はやや減少傾向ですし、子どもと一緒に読書や学習をする保護者も小・中では減少しています。唯一、**保育園児の保護者で「よくする」が増加しているのは良い傾向だといえます。**学校での朝の読書を「朝読（あさどく）」と呼ぶのに対して、**家庭での読書は「家読（うちどく）」と呼ばれ、**少しずつですが認識が広がり、その効果が報告され始めました。また、親子一緒に楽しめる本の紹介も、図書館や本屋でよく見かけられようになり、利用して楽しんでおられる家庭も多いことでしょう。

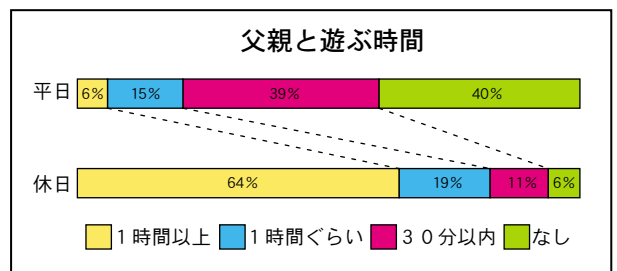
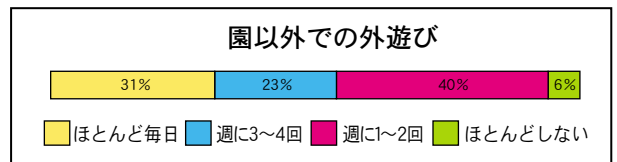
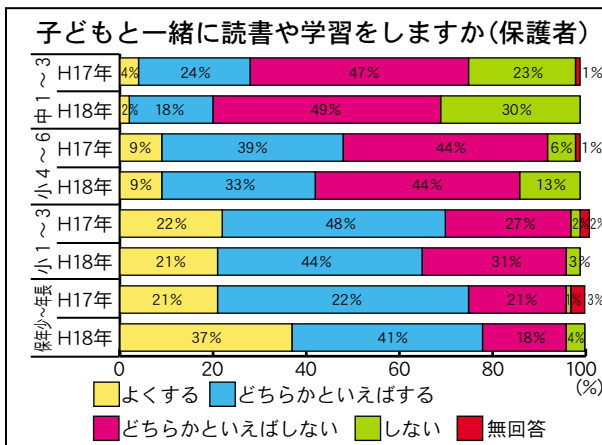
次に、外遊びについてです。右下部のグラフは全国の幼稚園でのアンケート結果ですが、園以外での外遊びが週1〜2回以下の子どもの約半数もいます。また、外遊びは父親と関わる人が多いと思いますが、父親が子どもと遊ぶ時間は、平日と休日の時間差が大き

く、関わりたいと思っても平日はその時間がないことを示しています。外遊びは、**体力の向上はもちろん、食事をおいしく食べることに早寝や熟睡につながり、一日の生活リズムや情緒の安定につながります。**親子での外遊びは、コミュニケーション不足を解消し、きついつつまでも子どもの心に残ることでしょう。

さて、これから夏休み。この時期は昼間の時間も長く、他の時期に比べて子どもも親も時間を自由に使うことができるので、**絶好の時期ではないでしょうか。**親子で、読書・外遊びをバランスよく楽しみましょ。



この時期は昼間の時間も長く、他の時期に比べて子どもも親も時間を自由に使うことができるので、絶好の時期ではないでしょうか。親子で、読書・外遊びをバランスよく楽しみましょ。



子どもの家庭生活に関するアンケート結果から (平成18・17年11月実施)

全国・国公立幼稚園長会のアンケート結果から (平成17年9~10月実施)

森の恵みを取り戻そう！

～森林環境保全税の活用～

とっとり環境の森緊急整備事業



日野郡内のとある森林、手入れ不足で真っ暗になってしまった…

**強度間伐
(30～50%)**



林内に陽光が降り注ぎ、元気な草木が生えてくるようになります。

鳥取県では、平成17年度より県民の皆様へ「森林環境保全税」をご負担いただいています。

この税金を財源とした『とっとり環境の森緊急整備事業』により、日野郡内では平成17年度から平成18年度にかけて88ヘクタールの森林を強度間伐しました。この事業により、下の写真のように山は見違えるように明るくなりました。

手入れされず放置されたままの山はありませんか？真っ暗で、植えた木以外何も生えていない山は

ありませんか？

『とっとり環境の森緊急整備事業』の事業箇所を募集しています。

対象となる森林は、①林齢が16～60年のスギ、ヒノキの人工林で、②手入れが遅れており、③団地面積がおおむね3ヘクタール以上あることが条件です。

事業内容は、通常より伐採率の高い間伐（本数率で30%～50%）を行います。

事業は県が行い、かかる経費は全て森林環境保全税でまかないま

すので、個人負担はありません。

また、事業の採択については第3者機関により審査されます。

真っ暗な山を強度間伐により明るい山に変身させませんか？

事業の詳細等については、最寄りの役場若しくは総合事務所までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

農林局 林業振興課
電話 0859-72-2020
担当 矢部 浩



古紙配合率100%再生紙を使用しています



このカタログの印刷は、環境にやさしい植物性大豆インクを使用しています。

編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1
TEL 0859-72-0321 FAX 0859-72-2072
E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4645>